



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	尾形 和夫	第2800地区ガバナー	新関 彌一郎
長井ロータリークラブ幹事	遠藤 伴明	第6ブロックガバナー補佐	横澤 寿彦
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel.0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel.0238-83-2047	会報委員	長澤修司・齋藤圭央・小野浩二

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成26年2月18日(火曜日) 第2,556回
【月間テーマ】 世界理解月間 <例会報告 NO.29>

ゲスト卓話

会員卓話

国際奉仕委員長 伊藤 克也 会員

★ 2月23日はロータリー創立記念日です

★会長挨拶(尾形 和夫)



皆さん、こんにちは。

1点ほど報告があります。

堺会員のお母さんがお亡くなりになられたということで、昨日お葬式に参列してきました。享年103歳という高齢で、90歳まで現役で診療されていたそうです。

現在、ロシアのソチでは、冬季五輪が開催されています。参加は史上最多の87カ国で、30年前のサラエボ大会が49カ国でしたので、冬季スポーツの世界への広がりを示す五輪といえそうです。

今大会に日本は、海外で行なわれる冬季五輪史上最多の248人の選手団を送り、2020年の東京五輪決定を追い風に国民に活気を与える活躍が望まれます。

16日で前半戦が終了し、金1、銀3、銅1の計5個を獲得しました。当初の目標に掲げた1998年長野五輪の金5を含む計10個を上回るのは難しそうですが、前回バンクーバー五輪の計5個に並び、まずまずの前半戦となったようです。

このロシア初の冬季五輪にはいくつかの懸念があり、一番は

テロの脅威であり、武力にたよらざるを得ない場合もでてくるのではないかとことです。

これは自由な雰囲気を欠き、武力に守られた五輪は平和と友好の理想からかけ離れたものと思われまます。

また、温暖な冬季競技の歴史の浅いソチ開催には、史上最高額となる4兆円を越す経費が投じられ、開催費用の膨張傾向も今後の検討課題とされています。

このような課題を抱えながらも世界中の視線が注がれる23日の閉会式までの17日間の大会。最後まで無事、平穏に進行し、最高水準の技と力による熱戦で世界を魅了してほしいと思います。そして、異文化の理解と交流も進む有意義な平和の祭典となるよう期待したいと思います。

今日は伊藤国際奉仕委員長の卓話を予定しておりますので、宜しく申し上げます。以上で、会長挨拶といたします。

★突撃!お昼のタスごはん



☆委員会報告

・プログラム委員会

3月のプログラム案内・先ほど理事会で承認されました。

☆幹事報告

ありません

☆横沢寿彦ガバナー補佐

1月にクラブ協議会がありました。地区の事業についてどうなのかガバナー補佐として報告します。

数値目標として、会員増強を純増1名ということにしていますが、ぜひ純増の形で終わることを期待しております。

ロータリー財団の米山ですが、15,000円(150ドル)という地区の目標がありますが、約半分となっていますが、いくらでも多くよろしくお願ひいたします。

一番大事な重点項目として、今年度は山形に避難している方に何か支援できないかということで行っております。

長井には190人避難しています。地区としてなにができるのかと考えていました。

実際に行ったものでは、長井中央と合同でいっこく堂のライブを招待。避難者との交流会として、11月・3月に行い、4月には観桜会にも招待する予定。

復興ファーム(レインボープラン)10名ほど、勤めている。そのファーム自体に支援金を渡すことを考えています。

☆会員卓話 国際奉仕委員長 伊藤 克也 会員

国際奉仕の山形県の担当者の方をお呼びして安泰していただのですが・・・会員卓話を依頼されまして、1か月ほど前から準備をしていました。

2月に天童にてロータリー財団の地区補助金管理セミナーに参加してきましたので、報告をさせていただきます。

次年度の「未来の夢計画」地区補助金(プロジェクト)申請にあたり、出席が義務づけられている。(本セミナーは、全クラブの出席。会長エレクト・副幹事・財団委員長)

全RCが出席していました。

地区補助金とは、3年前(1600万)のR財団年次寄付の内、25%(400万円)を地区内で分配して社会奉仕に使いロータリークラブを広くアピールする。(会員数と、寄付額を増やし、500万円を使えるようにしたい・・・)今年度の当クラブの寄付額 \$120(1人あたり)

地区目標 \$150 平均額 \$100

当クラブでは、街路灯のLED器具を長井市に贈呈する予定。

プロジェクト申請・第2800地区の承認・プロジェクトの実行・最終報告書提出までの流れ

・2014-2015年度地区補助金申請書最終受付 2014年3月末日

・地区ロータリー財団補助委員会にて承認 不承認の決定・・・「承認」

・地区と長井クラブとの「覚書」提出

・地区補助金送金 2014年7月1日以降「覚書」を提出したクラブから順次送金

・地区補助金報告書提出 領収書・活動内容が分かる写真・記事をガバナー事務所へ提出(2015年5月末日)

地区補助金の審査基準 (第2800地区)

① 授与と受託の条件を満たす (別紙参照)

② 1件の承認額 5万円以上30万円以下

③ 継続的なプロジェクトについてもある程度認める。(承認額は減少)新たな他プロジェクトを優先。

④ 年次寄付が「ゼロ」のクラブは、1回目は申請額の70%以下で承認。

但し「ゼロ」が2回連続した場合は申請資格を失う。「ゼロ」とならなかった翌年度から申請資格が復活する。(寄付額には比例しない)

⑤ 実施後のプロジェクト及び受付期限を経過した申請は、受け付けない。

⑥ 申請クラブの拠出金は、総プロジェクト費用の3分の1以上。社会奉仕活動費(ニコニコBOX)の収入より支出。

⑦ 最終報告書の提出が大幅に遅延、もしくは未提出のクラブは、翌年度の申請権を失う。(今年度の報告書が2800地区を通じてR財団に提出完了しないと次年度の補助金がR財団から送られて来ない為)

3年間国際奉仕委員長を携わってきた感想・意見

3年目の担当にあたり、年度をまたいで申請を行なう為、副幹事が、社会奉仕委員長を兼務、併せて、財団、国際奉仕の委員長も副委員長制をとって頂きたい。尾形年度に承認された横断幕作成を顧みてプロジェクトの早期考案と地区財団資金管理委員会へのプレゼンの重要性が強く感じられる。

ロータリー親睦活動の歴史について

限られたメンバーがグレンデに来る時代となりました。しかしながらスキーのイントラとして、パトロール隊員として、その普及発展に努めなければならないのも事実です。「雪が降ってくると、嬉しい(忙しくなる)のは君だけだ」と言われますが、スキーに関係している一員としては、平地にさらっと雪が積もれば、現場は充分というのが本音です。日本のスキー場の運営は厳しくなる一方ですが、今後の増加が見込まれる外国からの観光客を迎える為に、案内版の整備や外国語を話せるスタッフの養成等を行なったり、若手後継者の育成も重要な課題となっています。

今回の卓話の依頼を受け、世界を理解する(外国について理解する)ということは、まずは日本を理解する事が大事だと思います。

ロータリークラブは、学校の部活と一緒に、聞いた事があります。又「親睦が大事」という言葉を聞きますが、このフェローシップを通じて国際交流をする事で、ロータリーを理解する故に「親睦が大事」なのではと自分には感じました。

☆次回以降のプログラム

2月分

25日 ファイヤーサイドミーティング

3月分

4日 福島県人との交流会Ⅱ

11日 ゲスト卓話・長井市 内谷重治市長

18日 ゲスト卓話

長井青年会議所 齋藤 繁喜理事長

25日 新入会員卓話

長井商工会議所 塚田 弘一会員

<ニコニコBOX>

なし

<出席状況報告>

18/32名 54.5%